
アンドロイドの機械滅亡

秋鐘留々羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

私・神林みらいは、私立神ノ宮高校学園の生徒だ。今は昼休憩で、背が伸びるように願って買ったまずい牛乳を飲みほし、ヒマでヒマでしようがなかった。

「…お。そういえば屋上の都市伝説があったかな」

その通り、私立神ノ宮学園は、屋上に女子が行くと、アンドロイドが出現する。という都市伝説があった。そのこともあって女子はほとんど屋上に行かなかった。

「嘘だと思うけど…行ってみよ」

着いた。もう一人、女子がいた。制服だが、モデルチェンジ前の物だ。…待て。この女子が着てる制服は、もう売っていないじゃないか！しかも、30年前のものだぞ！？顔は高校生だが…

「あの…どうしたんですか」聞いてみた。

女子は振り向いた。

「私は科学性無感情アンドロイドの深海。誰かを待っていた。」

まさか、こんなことがあるのか！？私は近づいてみた。

「これより、インプットを開始する。」

突然、キスされた。

(後書き)

アンドロイドシリーズは続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0364p/>

アンドロイドの機械滅亡

2010年11月21日03時15分発行